

2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会主催
多言語対応・ICT化推進フォーラム
～人と技術によるおもてなし～

開催報告書

開催概要

- 催事名称
2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会主催
多言語対応・ICT化推進フォーラム
～人と技術によるおもてなし～
- 日時
平成27年7月22日(水)13時00分～17時30分
- 会場
東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内三丁目5番1号)
ホールD1、D5、D7
- 主催
2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会
- 共催
総務省
- 実施内容
多言語対応の先進的取組、ICTの技術動向紹介、社会全体のICT化推進の取組説明、自治体・民間企業による先進的事例の紹介など
- 来場者数
818名(全国の自治体・民間団体担当者など)
浜添知事、遠藤東京オリンピック・パラリンピック大臣、西銘(にしめ)総務副大臣など出席



当日プログラム

SCHEDULE スケジュール

D7 7階ホール

D1 1階ホール

12:30	開場	
13:10 ↓ 13:20	総合挨拶 対談要一東京製紙専修 選辞利用東京オリンピックフリンピック大会	パネル展示 内容 多国籍対応協働会の取組、 経産省、先進的事例を紹介 ※13:10~14:30は D7 7階ホールのライブ中継も 行っています。(席数に限りあり)
13:25 ↓ 14:15	パネルディスカッション 留学生から見た多言語対応 内容 首都大学東京の外国人留学生が抱える外国語の壁を 克服し、到着者視点からの多言語対応の取組方につ いてディスカッション 出演者 首都大学東京教授 西郷 仁朗 首都大学東京留学生	13:00 ↓ 閉場まで
14:20 ↓ 14:35	講演1 2020年に向けた社会全体のICT化推進について 内容 総務省が行う2020年に向けた社会全体のICT化 推進の取組について説明 出演者 総務省	
14:50 ↓ 15:10	講演2 地域と連携した「開かれしるす資産活用」の取組について 内容 少しの取組にもとけしるす資産活用を決めて、外国人 観光客を積極的に受け入れる取組を地元全体で つくりあげる事業の取組を紹介 出演者 富山県地域振興戦略・国際交流課長 河内 崇	14:50 ↓ 15:40
15:15 ↓ 15:35	講演3 製造業向けデジタル化に向けた取組の取組 ～震災からの復興とインバウンドツーリズム～ 内容 仙台市は、支援への取組、復興の取組、海外からの観光客の ため、今年3月に製造業向け取組を推進。この取組の取組に ついて取り組んで、震災一歩で取組を推進し、海外からのICTの取 組などの取組について紹介 出演者 仙台市経済戦略推進部経済戦略部長 廣澤 英夫	15:50 ↓ 16:20
15:40 ↓ 16:00	講演4 希望の子供のおもてなし 内容 海外からの出張者への対応事例を紹介 出演者 後援団ホテル取組推進委員会 会長 栗生	16:40 ↓ 17:20
16:05 ↓ 16:25	講演5 はとパスの外国人マーケットへの取組 内容 外国語で案内するツアーの手組み、現在の状況 多言語対応とインバウンド対策の取組 出演者 観光はとパス代表取締役専務 米田 啓佑	
17:30	閉場	

Technical Expertise Zone 技術紹介ゾーン 一般公開14:00~

D5 5階ホール



※紹介する技術は、都からグローバルコミュニケーション開発推進協議会に対して協力を依頼し、自治体職員
向けのICTの技術動向の提供受け入れに協力いただいた企業の技術及び総務省が推進するICT施策に關
連する技術を対象としています。

紹介する技術

- 海外工場で使用中の実用音声翻訳システム
- 専用翻訳アプリとクラウド管理機能を統合した最新言語プラットフォーム
- 書面の壁をなくす多言語音声翻訳アプリ
- 同時通訳サービス
- スマートフォン・タブレット向け翻訳ソリューション
- インバウンド対応多言語自動翻訳機
- アングラフリー接客技術を活用した情報案内サービス
- サイネージとスマートフォンの連携による情報提供
- Web-based Signage
- 交通系ICカードと多言語対応デジタルサイネージの連携
- 光付多言語サイネージ
- 特許取得プロジェクトによるおもてなし取組
- 言語の可視化と翻訳に役立つ新発行動向取組
- 災害対策技術 (SNSの連携分析、画像・音声の取組)
- サイバーセキュリティ技術
- 音声認識によるセルフ情報サービス
- マルチデバイス対応多言語翻訳システム
- タブレットを活用した多言語翻訳ソリューション
- 多言語対応翻訳機・観光向けモバイルソリューション
- 障害者と聴覚者のコミュニケーション支援アプリ
- 視覚補助用「ロービジョンエイド」AIウェア
- 多言語音声合成と音声による情報提供サービス
- 手話認識や顔でリアルタイムコミュニケーション支援
- 障害者の安全でスムーズな移動を支援する取組取組
- 新しい利用者と自動車の連携を促進するセンサーシート
- 新しい移動を考慮した、多言語公共交通機関案内
- 多言語対応ロボット
- 人間共生ロボットの取組
- マスコット情報案内ロボット

開会挨拶

・登壇者

東京都知事
東京オリンピック・パラリンピック大臣

舛添 要一
遠藤 利明

・内容

舛添東京都知事による開会の挨拶
遠藤東京オリンピック・パラリンピック大臣による開会の挨拶



留学生から見た多言語対応

- ・登壇者
東京都知事 舛添 要一
首都大学東京教授 西郡 仁朗
首都大学東京留学生 ダビッド・アルジャ・メラニー・徐陽・マノン・周甜
クララ・エビ・ニコライ・アラ・ニキータ・クレモン
- ・内容
首都大学東京の外国人留学生が街なかの外国語表記を調査し、利用者視点からの多言語対応のあり方についてディスカッション



首都大学東京留学生 その他意見

首都大留学生が外国人旅行者の視点で街中の表示・標識の調査を行った。その中で当日は登壇・発表のあった意見の他、次のような意見があった。



短期留学生
(JAPANESE SUMMER PROGRAM 2015)
意見(例)

駅の経路検索システムは
英語でプリントアウトもでき便利。



飲食店の名前が
日本語だけのことが多く、
目当ての店の名前が見つからない。



電車の路線図の全駅が掲載されているサインは
今自分がどこにいるか、他の駅までどれくらい
時間がかかるかとても分かりやすい。



空港などで、旅行がいどICのアプリや
交通機関のICカードの存在を
もっとアピールしてくれるとさらに便利。



日本に来て、多くの日本人が英語で声をかけてくれた。自分の国ではなかなかない経験だった。

有名なランドスケープを街中の道案内表示や交通機関用の
看板表示に盛り込んでほしい。

D7 パネルディスカッション

短期留学生 (JAPANESE SUMMER PROGRAM 2015) 意見(例)【続】

複数の電車の色分けやナンバリングが分かりやすい。

電車の路線による色分けが、駅構内の床面や壁面にもされていたらより分かりやすい。

電車内のデジタルサイネージは即時的に多言語で情報が表示されるため良い。

スタッフやボランティアが街なかでフラッグを持って道案内や観光案内をしていていたら、尋ねやすい。

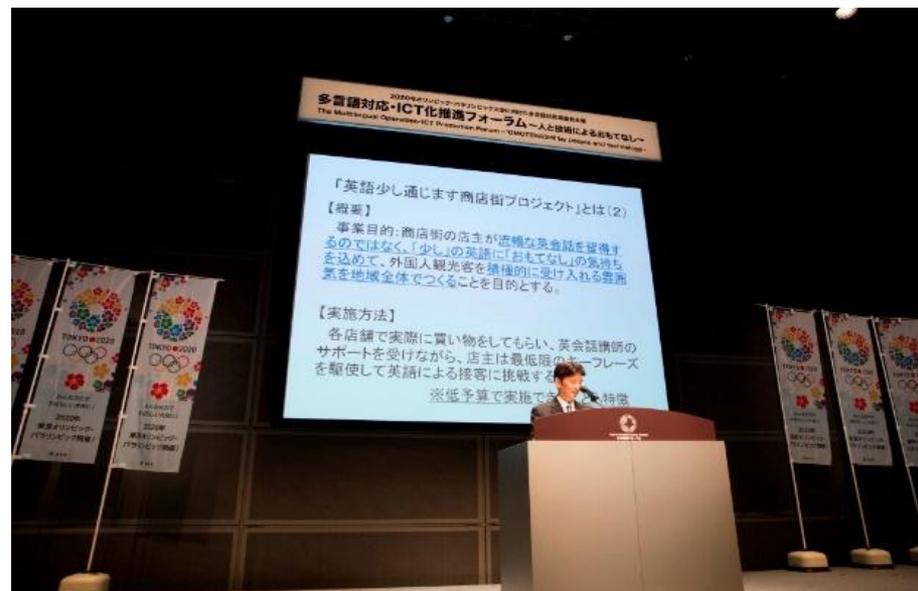
ご協力いただいた留学生

Timo Roeder, Alla Aleksandrор Chekulayeva, Katie Elizabeth Rooke, Clara Henssen, Hanisman, Meilany Elizabeth, Nikita Kurniarto, Abir Izzati Mohd Azman, Johnny Bong Lip Fun, Phusri Suphanida, Dexter Kenny Galkins, Clement Chi-Kent Yam, JongYoung Won, JaeHak Jyung, Nickolay Rumenov Sheitanov, Xia Li, Meng Lei Chen, Yu Qi Zhang

計18名(順不同・敬称略)

地域と連携した「英語少し通じます商店街」の取組について

- ・登壇者 品川区地域振興部協働・国際担当課長 河内 崇
- ・内容 少しの英語におもてなしの気持ちを込めて、外国人観光客を積極的に受け入れる雰囲気を地域全体でつくりあげる事業のエッセンスを紹介



国連世界防災会議に向けた官民一体の多言語対応の取組 ～震災からの復興とインバウンドツーリズム～

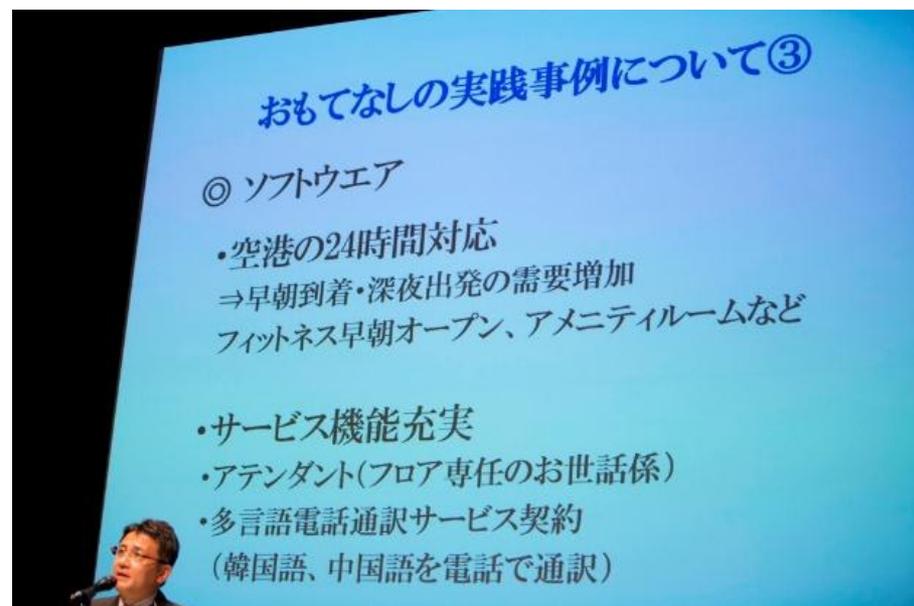
- ・登壇者 仙台市経済局次長兼国際経済・観光部長 嶺岸 浩友
- ・内容 仙台市は、支援への感謝、復興の発信、風評被害の払拭などのため、今年3月に国連防災会議を誘致。この会議開催に向けて取り組んだ、官民一体でのおもてなしや案内板、ICTの整備などの多言語対応について紹介



帝国ホテルのおもてなし

・登壇者 株式会社帝国ホテル取締役東京副総支配人 金尾 幸生

・内容 海外からのお客様への対応事例を紹介



はとバスの外国人マーケットへの取組

・登壇者 株式会社はとバス 代表取締役専務 米田信悟

・内容 外国語で案内するツアーの歩み、現在の状況
多言語対応とインバウンド対策の課題



D5 多言語対応等に関するICTの技術動向紹介



知事・遠藤大臣・西銘副大臣による視察の様子
(聴覚障害者とのコミュニケーション支援アプリ)



車いす移動者の通過を検知する
センサーシートのデモ体験



知事・遠藤大臣・西銘副大臣による視察の様子
(デジタルサイネージ)



技術動向紹介の様子

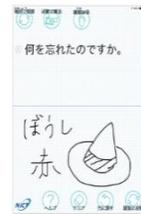
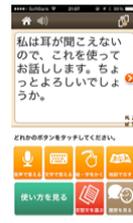


技術動向紹介の様子



多言語案内・通訳等ロボットとのフォトセッション

○ 多言語対応等に関するICT(約30種類)についてデモンストレーションを行い、最新の技術動向を来場者にご紹介



社会全体のICT化の推進

- ・出演者 総務省 中川 拓哉・飯村 由香理
デジタルサイネージコンソーシアム 江口 靖二・山本 孝・伊能 美和子
- ・内容 総務省(多言語音声翻訳、デジタルサイネージ)及びデジタルサイネージ専門家による2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する施策紹介



2020年に向けて、今日からできる“おもてなし”

- ・出演者
みずほ総合研究所株式会社 エコノミスト 坂中 弥生(ファシリテーター)
株式会社帝国ホテル 取締役東京副総支配人 金尾 幸生
株式会社はとバス 代表取締役専務 米田 信悟
やどやゲストハウス 運営会社取締役 山本 真梨子
- ・内容
様々な民間の立場から外国人旅行者に関わるおもてなし実践者が、その心遣いや考え方、接し方などについて具体的に紹介

